

■米国：エクセロンが価格競争激化のため小売部門の収益性悪化を報告

エクセロンは 2012 年 11 月 1 日の第 3 四半期決算発表で、卸電力価格の低迷による小売価格競争の激化により、小売競争市場における 2011 年以降の商業用需要家の新規獲得見込みを現状の 20%増（2014 年まで）から 9%増（2015 年まで）に下方修正したと発表した。同社は子会社である小売事業者コンステレーションを介した小売販売事業強化を目指しており、中期的な収益性の悪化が懸念される。また、低迷する卸電力価格は販売価格にも影響を与え、当期の産業用向けの販売利益は 2～4 ドル/kWh と予想を下回る結果となった。同社は、来年度以降の卸電力価格上昇を見込んでおり、当面は投機的な小売戦略をとらないとしているが、その一方で、半年以内に卸電力価格が回復しない場合、無配当に陥る可能性を示唆した。